

完配の詩と歌ノメル

喜ぶる部自慢の時

夜雨定品料品

○六八純年竹ちづば

(生なほどの殿亮だ)

。喜びの詩七三。日
出益矢五八。日

筋裏の汁、葉吹付

。明太五九。日
七九。日

一人前六九。日

。日海老唐揚。六〇。日

年打らぬ、豆豆に

炭火物を串茹で
。喜鶴あざ間、鰯がしら。

○薺草の野菜六九。日

。金之鹽、唐味噌付

。本日の主食

○浦見の鰐煮六九。日

。本日の主食。七〇。日

。年

○真火炙の親子舟

。火酒格は金之燒枝がんぢ。

十番牛の炒蕪。十八番の刺身

。完盤は味噌四五。金時金額
二二〇〇円。一九。日

。日鰻田中。日
日鰻田中。日

○海老野菜六九

。九〇。日

。年。六九。日